

山口県感染症発生週報

(第1週:平成28年1月4日～1月10日)

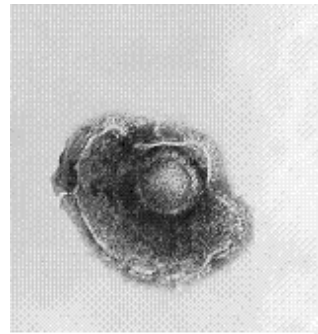
1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核: 5例(下関1、防府1、宇部3)。

【5類感染症】

・水痘(入院例): 1例(周南)。



水痘・帯状疱疹ウイルス

CDC/ Dr. Erskine
Palmer; B.G. Partin

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・インフルエンザ: 警報・注意報レベルの地域はありませんが、増加しており、全ての地域で報告がありました。迅速診断検査結果は、A型48例、B型11例で、9例は臨床診断でした。
- ・RSウイルス感染症: 多い状態が続いています。特に長門、萩で多く報告されています。
- ・感染性胃腸炎: 萩で警報レベルが続いています。[警報レベル: 萩(5週目)]*
- ・伝染性紅斑: 萩で警報レベルが続いています。[警報レベル: 萩(10週目)]*
- ・流行性耳下腺炎: 下関で注意報レベルとなりました。[注意報レベル: 下関(1週目)]*
- ・流行性角結膜炎: 岩国で増加し警報レベルとなりました。他の全ての地域でも報告がありました。(萩は眼科定点なし)[警報レベル: 岩国(1週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	52週	53週	1週	疾患名	52週	53週	1週
インフルエンザ	20	28	68	百日咳	0	0	1
RSウイルス感染症	183	151	151	ヘルパンギーナ	8	1	2
咽頭結膜熱	29	12	26	流行性耳下腺炎	35	17	45
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	196	72	120	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	443	292	364	流行性角結膜炎	9	1	24
水痘	7	14	22	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	14	10	7	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	46	24	55	マイコプラズマ肺炎	5	2	1
突発性発しん	19	15	30	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	2	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	10	7	3	6	13	11	12	5	1	68
RSウイルス感染症	41	14	4	34	3	1	17	21	16	151
咽頭結膜熱	6	2	6	7	2	2	0	0	1	26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	6	7	21	7	42	13	2	7	120
感染性胃腸炎	55	27	23	119	17	38	46	13	26	364
水痘	0	3	0	3	1	5	9	1	0	22
手足口病	4	1	0	1	0	1	0	0	0	7
伝染性紅斑	9	9	1	5	3	4	7	0	17	55
突発性発しん	10	0	2	6	1	6	4	1	0	30
百日咳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ヘルパンギーナ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
流行性耳下腺炎	32	3	3	2	1	3	0	0	1	45
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	3	11	5	1	1	1	1	1	0	24
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0